

## 会 議 報 告 書

令和4年8月17日

企画部なとりの魅力創生課

課長補佐兼魅力創生係長 守 正樹

令和4年6月9日（火）に第3回名取市『(仮) なとりの魅力冊子』編集委員会を開催したところ、その概要は以下のとおりでしたので、報告します。

会議名	第3回 名取市『(仮) なとりの魅力冊子』編集委員会
日 時	令和4年6月9日（火） 13時30分～16時30分
場 所	6階第2会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴者	0人
概要等	<p>開会前に新たに委員になられた方に対して委嘱状を交付。</p> <p>1 開 会</p> <p>2 挨拶 相馬会長より</p> <p>本日はお忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日、第3回目の編集委員会となる。人事異動などで新しくスタッフに加わった方もおられ、新たなメンバーでちょっと視点も変えながらより良い方向に行ければと考えている。</p> <p>今年度完成を目指し率直な意見をいただきながらまとめて行きたいと思っているためよろしくお願ひしたい。</p> <p>3 自己紹介</p> <p>相馬会長以下、出席の各委員より自己紹介後、事務局側から自己紹介を行った。</p> <p>説明事項の前に事務局から「会議の公開」等について説明。</p> <p>（事務局 佐藤）</p> <p>名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、本会議は公開となっている。本日の会議について公開することとしてよろしいか。</p> <p>また、議事録の作成について、要点筆記とし、発言した委員の名前は残す形での作成でよろしいか、この2点についてご協議願う。</p>

相馬会長よりこの2点について委員に諮ったところ、質疑・反対意見は無く、会議は公開し、議事録は要点筆記・発言委員を記名することとなった。

#### 4 説明事項

「(仮) なとりの魅力冊子」の考え方について資料1により事務局(守)より説明。

##### ①冊子のコンセプトについて

普段生活している中で感じている「愛されるふるさと なとり」の良いところ、好きなところを冊子を通じて再認識いただき地域愛を深めるとともに、市外の方にも興味、感心を抱いてもらうことで関係人口の拡大に繋がるような冊子をコンセプトとしたい。

##### ②冊子を実際に手に取って見てもらいたい年齢層

なとりのこれからを担っていく20代～30代の人口流出が続いていることから、それらの年齢層をターゲットと考えている。

##### ③冊子の使用について

- ・若い世代をターゲットとするため、手軽に手に取ってもらえるよう冊子のサイズはB5またはA5を想定。
- ・ページ数は小冊子と言われる48ページ以内にまとめたい。

##### ④冊子の掲載内容について

- ・いままでの委員会において「モノ・ヒト・コト」をテーマとした選出をお願いしてきたことから、それら3つのテーマを軸に項目を抽出願う。
- ・抽出件数については、48ページ以内を想定しているので写真や記事の載せ方にもよるが15～20項目程度になるのではないかと想定している。
- ・別添資料のとおり、アンケート調査内容では7割以上が「コト」に集中していることから、目安として「コト」9項目、「ヒト」と「モノ」はそれぞれ3項目が妥当なところと考えている。ただし、あくまでも参考とする目安のため、みなさまで意見を出し合っていただきたい。抽出件数についても前後して構わない。

##### ⑤抽出する際のポイント

- ・見てもらいたい年齢層を20～30代としていることから、その世代が興味を持つ項目の抽出をお願いしたい。
- ・ひとつの項目に選定できない場合は類似や関連する項目をひとつにまとめても構わない。

— 説明は以上 —

(相馬会長)

ただいま事務局より説明があったが私自身、本日の編集委員会の前に事務局より説明をいただいていた。

これまでの内容との変更点もあるため、改めて資料を見ながら確認したいと思う。

まずは冊子の仕様について前回までは特にページ数について決まっていなかったが、100ページ程度のボリュームでとの話もあった。

今回改めて事務局よりサイズ感や冊子のサンプルの提示もあり、コンセプトから考えると48ページ以内での案が提示された。この点について質問を募りたい。

○委員から質問等 なし

(相馬会長)

質問ないため、ページ数については48ページ以内とする。

(相馬会長)

続いて掲載内容について確認したいと思う。

今まで我々が協議してきた内容については資料の大分類と小分類により協議してきた。今回事務局より更に「ヒト」「モノ」「こと」に振り分けて選定するという説明がなされた。

抽出件数についても前回までは特に定まっていなかったが、冊子が48ページ以内を想定していることから15～20項目程度という説明があった。

その他、抽出する際のポイントについても説明されたが、この点について質問を募りたい。

(坂口委員)

15項目となると、大体予想がつく項目になってしまい前回のものと変わらないものになるのではないかと危惧する。

そうなる写真やweb上での掲載といった見せ方について今後の進め方で考える必要があるのではと思う。

(宮澤委員)

前回、サンプルとして提示された「すごい！鳥取市」を見て思ったのは

鳥取市の場合は「すごい！」というキーワードがフィルターとなって様々なものがアウトプットされている。

フィルターとなるキーワードがある事で普段から紹介している「セリ」や「カーネーション」も新しい表現に変わるものとする。

また、若い人たちに冊子を手にとって見てもらいたいのは当然ではあるが、その先見られるのはスマホといったデジタル媒体を介して見ることになるため、冊子には詳しく記事を掲載しなくてもビジュアルがあつて気になるものがあればQRコードから情報を獲得すればよい。

15項目にこだわらなくても写真の区割りを小さくし詳細はQRコードから収集する方法でも良いのではないかと。

記事ではなくビジュアルからサイトへ飛んでいく世代。文書ではなくビジュアルでどんどん表現していくのが今風なのかなと思う。

(赤井澤委員)

冊子の4種類のサンプルをみると、“るるぶ”で発行している冊子が実際に取っていただく機会が多いのではないかと。

他のA5版やB5版の冊子はどこにでもあるような感じがする。

“るるぶ”の冊子は他の冊子に比べより目立ち興味が湧いてくるような仕様になっていると感じた。

(相馬会長)

今までの意見に対して事務局としてどう考えるか。

(事務局 守)

事務局としても皆様からいただいたご意見とほぼ同じ事を考えていた。写真や記事については、プロにお願いする必要があるのかなと考えている。ただし、皆様の意見もお聞きしながらまた、予算との兼ね合いも見ながらにはなるが、できればその方向で行けたらと思っており、QRコードについても同様に考えていた。

“るるぶ”の冊子は確かに目に留まるものの、どうしても観光に特化した内容になっている。事務局としては観光誌ではなく、あくまでなとりの魅力を伝える冊子を想定している。

(坂口委員)

項目を選定することだが、20代30代の世代に見てもらおうということは、選定する項目においてそれらの世代を考慮した項目選定というこ

とか。かつて20代30代だった人たちが、委員の多数を占めている。  
例えば想定とか表現方法について「子連れが行きやすい場所」とか、記載方法をどうするかによって考えが変わってくるのかなと思う。

(相馬会長)

なとりの魅力という大きな括りではなく、その先の20代30代に刺さるなとりの魅力という基準をきちんと全体で共有したらよいのかというところで、結構大事な部分だと思う。

事務局はどう考えているか。

(事務局 守)

冊子を見てもらいたい世代に、この冊子によりあらためて「なとりって良いところだな」と感じてもらい、ずっと名取に住み続けたいという気持ちにさせる冊子にしたいと思っている。

まずはそういった気持ちになるような項目を選定していただきたい。全ての世代になると範囲も広がるので、やはり中心は20代30代を中心に項目を選定していただきたい。

ただし、歴史や文化財といった項目も非常に多いためバランスよく抽出していただければと思う。

(本郷委員)

自分自身70歳を超えているので、20代30代の方たちが何を求めているか、なかなか難しいところ。

「コト」「モノ」に関して絞れば、それぞれ3項目程度になるのではないかと。「閑上」も海産物でまとまっている。要するに見せ方になるのではないかと

始めた当初は特に20代30代の縛りはなかった。ここに挙がっている項目がそれらの世代に合うものと合わないものがある。その辺の絞り込みについて頭が痛いところだ。

(宮澤委員)

絞り方のヒントとして今 YouTube で調べてみたら「名取市におもしろい自動販売機がある」とか朝市についてもいろいろな角度でアップされている。見せ方について参考になるし、今の若い人たちはこういったものを使ってシェアしあってというのが流行りなのかなと思う。デジタルとアナログを掛け合わせることでひとつのアウトプットができるのかなと思う

た。

(相澤委員)

選定する上で我々全員が20代30代ではないが、それらの世代にささるものを探す必要がある。当然ささるものを選ぶのだが、必ずしもそれに媚びる必要もないと思っており、そこはわれわれ選定委員の知見を広げつつ、より良いものを選び、それを紹介するということではないのかなと思う。

今から選定委員を20代30代に変えれば良いのではないかということではなく、ターゲットは20代30代で良いと思うし決定の際にはある程度妥協ではないが、飲まなければならない部分もあるのではないかと思った。

(小室委員)

私も1年間かけてアンケートを取ってきたところは大事にした方が良いと思った。

「モノ」の項目から3項目選んでというと、代表的なものが選ばれてしまうのではとも思ったが、そこからQRコードで若い人達にささるものを入れ込んで「名取はこういうところなんだよ」という事を若い人たちに分かってもらえれば良いと思う。やはりアンケートは大事にしたい。

(本郷委員)

名取市では、那智神社の裏にレクリエーション施設を整備しており、市が投資していることになる。ところが冊子の中にそのレクリエーション施設の掲載がないとなると市が考えているものと違って来る可能性がある。それでも仕方がないのかもしれないが、その辺の捉え方について考え方が同じ方向を向くことが大切な気がする。

(相馬会長)

選定に関しては選んでみないと分からないのかなと思う。これより事務局から説明があると思うが、選定時の優先順位を決め、例えばこれは是非紹介したいというものは見開きで紹介する。低いものは1ページ、さらに低いものは1/4ページ、もっと低いものは名前とQRコードのみとか、とりあえず選定してみてもどれくらい出てくるのか、やってみないと分からないところかなと思うため、いま皆様にご意見いただいたことを基にしながら選定作業に入った方が良いのかなと考えるが、皆様よろしいか。

○各委員より「はい」との発言

(相馬会長)

それでは事務局、絞り込み作業の説明をお願いしたい。

5 冊子掲載内容 絞り込み作業 (資料2関係)

○絞り込み作業の概要について事務局 (守) より説明

- ・資料2において今まで上がってきた項目を「ヒト」「モノ」「コト」に振り分けており、更に今までの編集委員会で皆様において点数が高い項目順に並べている。
- ・選定基準については20代30代の方々が興味をそそるような項目を選定願う。
- ・冊子のページ数からすると、15～20項目程度がギリギリ載せられる項目数であると思われる。
- ・選定した項目については選定理由と先ほど会長からもお話があったように、これは絶対に載せたい、その次くらいに載せたい、最後はそこまで優先順位は高くないが、できれば載せたいといったある程度の優先順位も付けていただきたい。

○資料2の内容について事務局 (松原) より説明

- ・前回の編集委員会で配付した「選出項目リスト 別表1」を基に作成した表である。以前配付した資料の中で項目毎に160、80などと記載していた数字を、今回は「いいねポイント」と表現している。
- ・前回配付した「選出項目リスト」では多数の項目を載せていたが、今回はその中の上位100件から「思い出」や「名店」を除いて86項目をリストアップし、更に作業の便議上「ヒト」「モノ」「コト」の3つに分類した。
- ・「いいねポイント」とは、なとりの魅力アンケートに出てきた各項目について何人の委員が良いと感じたかの累計である。例えば小分類「地域活動・サークル・公民館」のいいねポイントは60である。これの内訳を見ると、「愛島もりあげ隊」に関するコメント付きの回答が3件あって、1件目の回答に対して4人の委員が「いいね」と反応していて、2件目と3件目にはそれぞれ3人の委員が「いいね」と反応した。これらを合計すると10になるので、「地域活動・サークル・公民館」のいいねポイント60のうち、「愛島もりあげ隊」のいいねポイントは10になる。

・「いいねポイント」は、アンケートに出てきた回数と、それぞれに何人の委員が「いいね」と感じたかの2つの要素からなるものなので、どのくらい注目度があるのかの目安になる。今回配付したリストは、冊子への掲載優先順位を考える時のヒントとして使っていただきたい。

(相馬会長)

それでは事務局からの説明に対して、質問を募りたい。

質問がなければこのまま、選定作業に入りたいと思う。選定時間は60分～90分を予定しており、適宜休憩を入れながら作業をして行きますがよろしいか。

○各委員より「はい」との発言があったことからAグループ、Bグループに分かれて選定作業に入った。

(相馬会長)

それではAグループ、Bグループともに長時間の検討作業、本当にありがとうございました。これより各グループから検討内容を発表いただいた上で、全体で内容を決定していきたいと思う。Aグループから発表をお願いしたい。

(Aグループ 菅原委員)

○Aグループは「いいね」数を重視したうえで、3テーマに分けてそれぞれグループ分けしテーマをピックアップした。冊子イメージとして、どういう冊子が良いのかなと話した中で参考として提供された冊子の中から2つの冊子(川崎町の冊子と(株)巻組の企業紹介冊子)のイメージが良いとなった。

○ただ人気があるものを集めると例年通りの内容になってしまう。

○人の顔写真がたくさんあると、今までと違った魅力冊子になるのではないかとということになった。

具体的に「グループワーク取りまとめ資料」により説明。

○「コト」について

優先度1 「住みよさ」

20～30代が魅力に感じて欲しいというテーマだったことから、子育て世代が興味を持っている「住みよさ」のところになるのかなという話になった。



「アクセスの良さ」「イオンモール」「十三塚公園」「図書館」などの施設が挙げられた。

優先度2 「閑上地区」

復興も完了し「サイクル」「かわまちテラス」「朝市」といった施設が綺麗に整備され力が入っているとの話になった。

優先度3 「仙台空港」

子育て世代が旅行に出かけるにも魅力的だし、空港自体もプレイスポットとして遊べるという事で仙台空港が選ばれた。

優先度4 「学都」

保育園から大学まで全ての教育機関が完結しているということで、子育て世代が魅力に感じるものと考えた。

優先度5 「熊野三社」

いちばん委員の中で「いいね」という意見が多かった「熊野三社」を選定した。

優先度6 「自然」

海、山、川といった自然の豊かさ、「増田川」「蛸」「夜景」が見えたり海が見える公園があったりと自然の豊かさの意見が挙げられた。

また「住みよさ」と「自然」を繋ぐ意味合いで「自然と都会のハイブリット」というところも名取の魅力だという意見も挙げられた。

優先度7 「古墳」

歴史としての繋がりがあるが「古墳」を選択した。

優先度8 「歴史」

「歴史」も深い街であるということで藤原実方中将といった「歴史」がピックアップされた。

○「モノ」について

優先度1～3 「花卉栽培」「赤貝」「せり」

なとりの一大産業である「カーネーション」「せり」「赤貝」については外せないという意見がでた。それらを海、山、丘といったかたちで掲載すれば面白い繋がりが出るのではないかなという話しになった。

優先度4～5 「海の幸」「山の幸」

その他、これから押していきたいモノとして「しらす」や「ミョウガタケ」「たけのこ」「耕谷もち」も紹介したいといった意見も挙

げられた。

#### ○「ヒト」について

「ヒト」については、内容がザックリしていたことから実際になどりの特徴として市内に公民館が11箇所あるというのは他の市町村より多いというところと、公民館を通して地域交流が多く行われているため、特に若者世代が食いつきそうな、子どもや若者が活動している団体を挙げさせていただいた。「愛島もりあげ隊」「カタクリの里」「プレーワーカーズ」、また多少社会的に掲載しづらいかもしれないが「子ども食堂」など載せてあげたいという意見になった。

その他、「見守り隊」が各地域にあるため、そういった方たちの笑顔の写真を載せることで子育て世代には魅力と感ずるのではないかなと言う話になった。

Aグループは以上。

(相馬会長)

Aグループの説明内容について質問を募りたい。特になければBグループの発表に移りたい。

#### ○各委員より「はい」との発言

(相馬会長)

それではBグループの発表をお願いしたい。

(坂口委員)

Bグループは全体的な方針として15項目を選ぶ時に3つの資料で一番分厚い「コト」の資料がまずあって、冊子のサンプルでは「ヒト」を紹介しながらお店や場所を紹介しているため、たとえばまず15項目選んでそこで出てくる「モノ」や「ヒト」みたいな形が良いのではないかなと言う事で15項目を選んでみた。

#### ○ 「熊野三社」「仙台空港」「古墳」「サイクルスポーツセンター」「自然の豊かさ」「海・山・川・空」「閑上地区」「子育てしやすいまち」と出ているが、先ほど話し合ったように写真とか見せ方とかの中で生活利便性の高さや都会と田舎のハイブリットなど、どう見せたら良いのか分からないものもあるため、例えば都会と田舎のハイブリットであれば、閑上

でサーフィンをしながら通勤するとか、20代30代の方がイメージしやすい体験やシチュエーションを想定した伝え方があるのではないかという話が出た。

○ いろいろ議論していく中で当然みんなが良い前提で、例えば「海・山・川・空」と入れる事によって名取にしかないような、他の町にはあるが加工することによって魅力が伝わるものがあるのではという話が出た。

○ 全体として15項目上げたが全部を統括するコンセプトとかコピーといったものがあると、これからどう伝えるかという議論になってくると思うが、「そもそも何」といったところが出てくると良いのかなといった意見もあった。

Bグループは以上。

(相馬会長)

ありがとうございました。質問を募りたい。

(相澤委員)

質問ではなく感想として「海・山・川・空」などはインパクトがあり強烈な印象を受けた。たとえばさらに食欲に自然の要素を加え「自宅の庭で飛行機見ながらバーベキュー」という風にするとより面白いと感じた。

(相馬会長)

ありがとうございます。

(相馬会長)

グループA、Bそれぞれ項目が上がってきたが、若干の違いはあるものの、大まかに括って選出した中でかなり同じ内容になっていると感じた。ここから掲載する項目を決定するということだが、どの様にするか。

(事務局 守)

A、Bグループともに抽出された項目のうち例えば「熊野三社」「仙台空港」「閑上」「古墳」、Bグループの「子育てしやすいまち」とAグループの「ヒト」で挙げられている項目は、お互い同じことを意味しているのではないかと感じた。重複している項目については決定ということで良いのではないかと思う。後は優先順位の高い項目について話し合っていたい

て決定していただければと思う。

(相馬会長)

グループBで「ヒト」という部分で、その場所で落とし込んで行くという説明だったが、具体的にどの「コト」に、どの「ヒト」が入れられるのか具体例があれば教えてほしい。

(坂口委員)

若干個人的な意見も入るが、例えば分かりやすいのは「閑上」を例にすれば、朝市の方達や「学都」で言えば誰が良いのかは別として比較的分かりやすいし「せり」なんかもセリ農家の方がいらっしゃる。

生産されている方もそうだが、例えば「せり」も「しらす」も捕れるのもそうだが、食べ方なんか「追いしらす」だったり、せりは「根っこを食べる」だったり通常と違う一工夫がある。

逆に「利便性」「古墳」については落とし込むのは難しいが、名取で古墳に詳しい人がいて魅力を話されるのも良いだろうし何かしら人を介して説明できるのはいくつかあるのかなと思っている。

(相馬会長)

グループAで迷ったのは「ヒト」というところの一番は「地域活動」であること。「コト」の中での「ヒト」という関りではなくて、「地域活動」が名取市では盛んだという「ヒト」の括りをどのように見せるのが課題となり、最終的には20代30代にささるような団体をピックアップして見せたらどうかという話し合いになった。

グループBの考えは「コト」から「ヒト」の流れになっているため、その辺をどう解消すれば良いのか、名取市の地域活動の「ヒト」というところをどう落とし込んでいくのかAとBでちょっと違った部分かなと感じた。

(赤井澤委員)

項目数が一番多いのが「コト」であったため、Bグループとしては「コト」を選ぶことによって「コト」にまつわる「ヒト」があり「モノ」があると考え、まずは「コト」を選ぼうとなった。例えば「地域活動が盛ん」というキーワードを選んだ際に、地域で清掃活動をしている団体の方達が活動している写真等を選出すると、「コト」から「ヒト」へ関連付けができると考えた。

「ヒト」は「ヒト」、「モノ」は「モノ」とすると、どう纏めるのかという問題が出てくる。「コト」の中から「ヒト」「モノ」があるという考え方のほうが纏まりやすいという話になった。

(相馬会長)

私自身もその考えは賛成ではあるが、ただしリストに上がっている内容としては結局地域活動であり、例えば「愛島もりあげ隊」であったり「カタクリの里」だったり、これらの団体をどう「コト」に結びつけるのかAグループでは非常に難しいという話になった。

「ヒト」はもういいのではないかなれば、それはそれで良いのかなと思う。グループAとしては「ヒト」という括りの中でどう見せていくのかという話し合いをした。グループBのように「コト」の中に上手に「ヒト」を入れていければ個人的には良いのかなと思った。

(坂口委員)

例えば「愛島もりあげ隊」の方々は五社山など、地域が植生豊かで、いろいろな植物について非常に詳しく知っている。実際、僕らも五社山のマップを制作する際にもりあげ隊の方たちに写真を提供いただきながら制作した。

例えば自然の豊かさなどは、もりあげ隊の方に説明してもらおうというやり方もできると思うし、全部ではないがその方をピックアップしながら結果的に自然の豊かさを伝える方法もあるのではないかなと思う。

(相馬会長)

「ヒト」については上がってきた項目数が非常に多い。しかし多い割には殆どがポイント1しかない。

では何を選べばよいのかとなった時にグループAでは20代30代に関わりのあるグループを選ぼうということになった。その辺が上手に「コト」と結び付けられればよいのだが。

(相澤委員)

実際にはA、Bグループとも考え方は一緒。Bグループの考え方で言うのであれば、Aグループの「ヒト」の項目では選出された1～7の項目がひとつに「ギュッと」まとまっていて、そこに「地域活動」という「コト」に入るというイメージになる。Aグループで「ヒト」の部分でいうと、「いいねポイント」が高いという部分と個別に分けると1ポイントというもの

もあるが、せっかく地域活動として取り組んできて埋もれてしまうのはもったいない。例えば「こども食堂」など、こういったものはむしろ出していく案件ではないかという議論もあり、「ヒト」の分類で7項目選出しているが、7つでひとつというのがAグループの考え方である。ただ、Bグループのように各項目に混ぜ込んでいって綺麗に当て込んでいく事もできると思う。そこは出来上がりのバランスかなと思う。

(相馬委員長)

このあたり、「ヒト」の扱い方について皆様いかがお考えか。

(宮澤委員)

選んだとして、どう「コト」として出すのか、そちらを決めてからでも遅くないかなど。その中のキーワードで「僕の推し」とか「やばい」とかキーワードが出てくると、「この人やばいよね、じゃあこの人にこれ聞こうか」という発想がいいと思う。

(赤井澤委員)

「ヒト」というキーワードは非常に難しい。

「愛島もりあげ隊」をどう表現して皆様に魅力として訴えるのか、あまりにも焦点が当たりすぎるところもあるような気がする。しかも20代30代が冊子を手にとって見るような内容に持っていくには、どう関連させるべきかいうところまで考えてしまうと、むしろみんなが関心ある「コト」の中に、例えば「愛島地区を紹介します」といった写真があった際に「もりあげ隊」がいて、自然を守っているといった脇役的なところで「ヒト」を紹介するといったことでいいような気がする。

「ヒト」を選んだことの説明をしなくてはならないのではないか。

「愛島もりあげ隊」のような活動をしている団体は全国各地に存在していると思う。そこをあえて選びましたというところに持ってくるのかという話になる。

(相馬会長)

今回、選出の方法が「ヒト」「モノ」「コト」の3つの分類ということでスタートだったので、グループAではこうした選出になった。

(事務局 守)

Bグループはある程度踏み込んだ形で選出されたのかなと感じた。

方向性は一緒に既に7項目程度はA、Bともに合致している。  
後はどう見せるのかになるのかなと思う。

(坂口委員)

菅原委員から名取の「地域活動」の素晴らしさについて話がされた。実際のところ、我々は実感がないところなので「地域活動」の項目があってもいいと思っているし、興味を持っている20代30代の方もたぶん一定数いると思う。

那智が丘公民館がすごいというのは分かっているのだが、名取の地域活動のオリジナリティー等を語っていただければと思う。

(菅原委員)

まず11の地域にそれぞれ公民館があるというところ、各小学校単位で公民館が設置されている地域はなかなかない。運営を外部に委託するというのが、今の全国的なトレンドとなっている中で、地域と行政との結びつきを強くするために地域交流を盛んに行われていることは間違いなく大きな魅力である。地域活動も高齢者が中心ではあるが、若い世代や学校を巻き込んで学校任せではなく地域で子どもを見守る活動をしている。そういった橋渡しのために地域活動が行われている部分もあるため、20代30代の子育て世代にはそういった地域での見守りや交流があるというのは、魅力のひとつとしてPRする価値はあるのではないかなと思う。

(相馬会長)

グループA、Bともに抽出した項目において、重複しているものや考え方の方向性が一緒の項目もある。ここから先については今からこの人数でまとめるのは大変かなと思うので、事務局と私とで3案程度考え皆様へメールか何かでお諮りした方がよいのではないかなと思うが如何か。

○各委員より「はい」との発言

(相馬会長)

ありがとうございます。

次第の5その他皆様から何かあれば。

事務局からいかがか。

(事務局 守)

次回の委員会については7月か8月上旬頃を予定している。また、次回は抽出された項目について、どのように見せるのか、どういった切り口で表現するのか意見をいただければと考えている。

(宮澤委員)

事務局としては、この冊子をカジュアルなものと考えているか。

(事務局 守)

事務局としては、まずは若い世代の方たちが手に取ってもらえるような冊子にしたいと考えている。

(相馬会長)

それでは本日予定していた内容としては以上で終了となる。ありがとうございました。最後事務局へお返しする。

(事務局 守)

皆様、長時間ありがとうございました。

以上で第3回名取市『なとりの魅力冊子』編集委員会を閉会とする。

以 上



第3回名取市『(仮)なとりの魅力冊子』編集委員会 出席者

No.	所 属	役 職	氏 名
1	尚綱学院大学	准教授	相馬 亮
2	仙台高等専門学校	教授・校長特別補佐（広報担当）	坂口 大洋
3	一般社団法人 名取市観光物産協会	観光委員会委員	赤井澤 正志
4	名取市商工会	主任主査	伊藤 弘輝
5	社会福祉法人 名取市社会福祉協議会	福祉活動専門員	小室 直実
6	名取市文化協会	会長	本郷 一浩
7	仙台国際空港株式会社	管理部コーポレートグループ シニアスタッフ	相澤 侑也
8	株式会社東日本放送	みやぎプロモーション室 室次長兼ビジネス局企画事業部	宮澤 直宏
9	企画部	政策企画課 主査	齋藤 裕美
10	教育部	生涯学習課 主査	菅原 洋平

【事務局】

企画部なとりの魅力創生課	企画部次長兼 なとりの魅力創生課長	藤原 淳
	課長補佐兼魅力創生係長	守 正樹
	魅力創生係 主査	佐藤 文人
	魅力創生係 主査	松原 妃